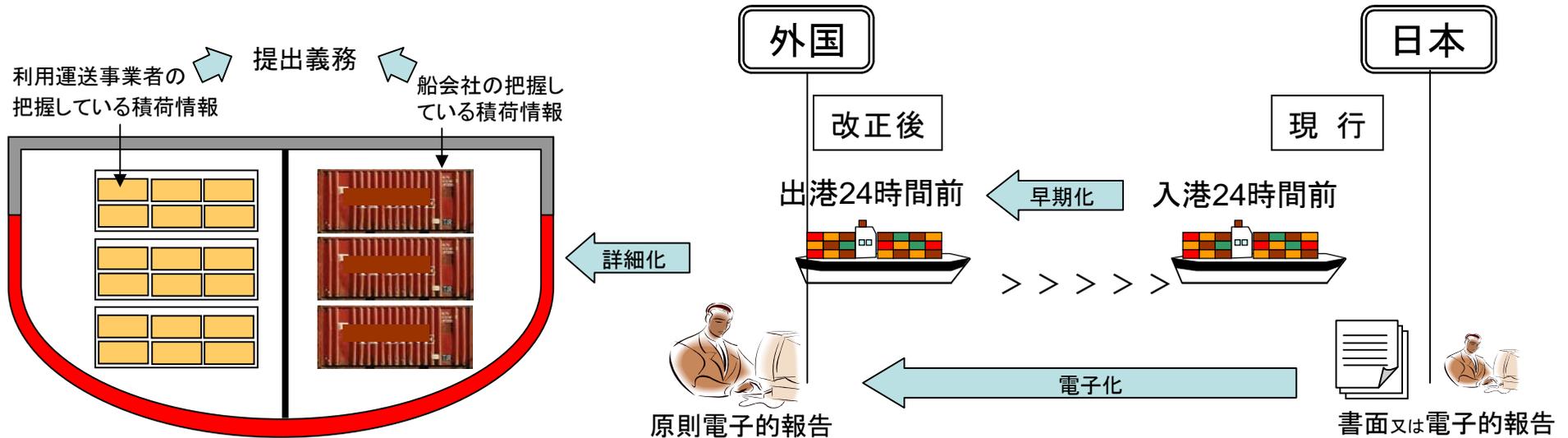


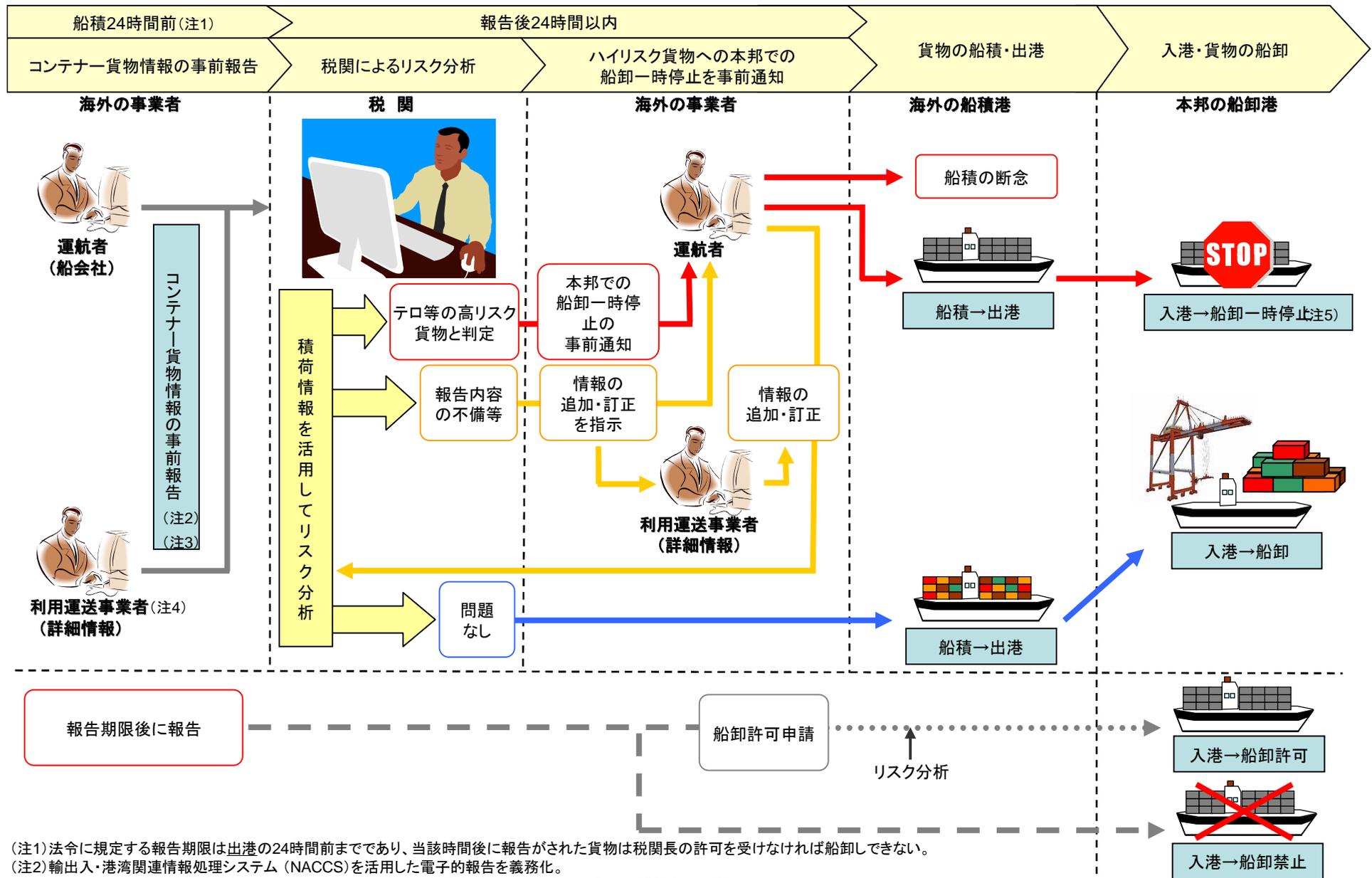
1. 出港前報告制度の概要

我が国に入港しようとする船舶に積み込まれた海上コンテナ貨物に係る積荷情報について、原則として当該コンテナ貨物の積出港を当該船舶が出港する24時間前に、詳細な情報を、電子的に報告することを義務付ける。

		現行	改正案
報告期限 (早期化)		原則、 <u>本邦</u> に入港する24時間前	原則、 <u>外国</u> を出港する24時間前
報告内容 (詳細化)	船会社の把握している積荷情報	提出義務	提出義務
	利用運送事業者の把握しているより詳細な積荷情報	税関長が必要と認める場合のみ提出	提出を義務化
報告方法 (電子化)		書面又は電子的報告	電子的報告を原則義務化



2. 出港前報告制度(案)の概念図



(注1) 法令に規定する報告期限は出港の24時間前までであり、当該時間後に報告がされた貨物は税関長の許可を受けなければ船卸できない。

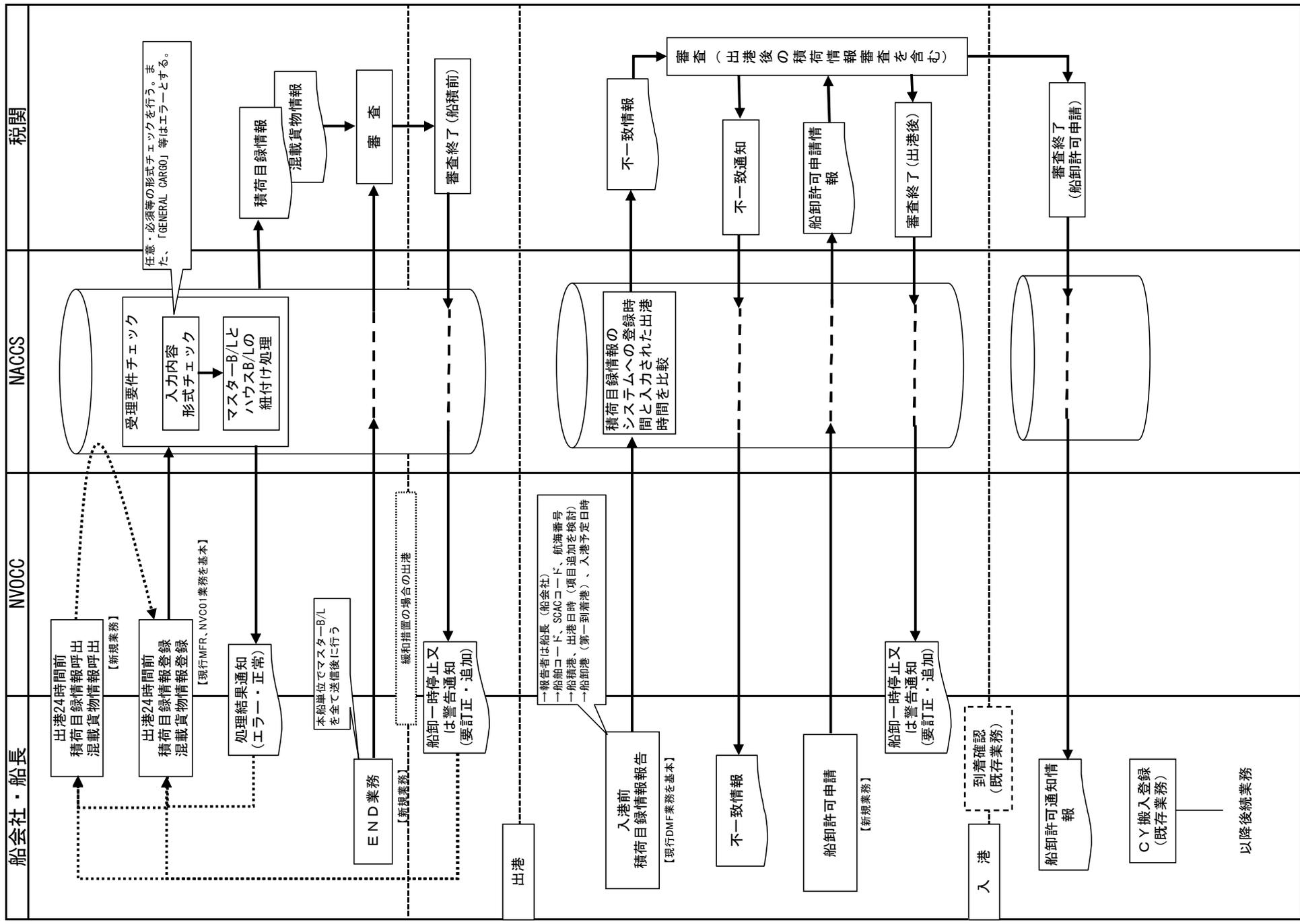
(注2) 輸出入・港湾関連情報処理システム(NACCS)を活用した電子的報告を義務化。

(注3) 日本に入港する外国貿易船が日本向けのコンテナ貨物を積込む外国の港を出港する24時間前までに報告。

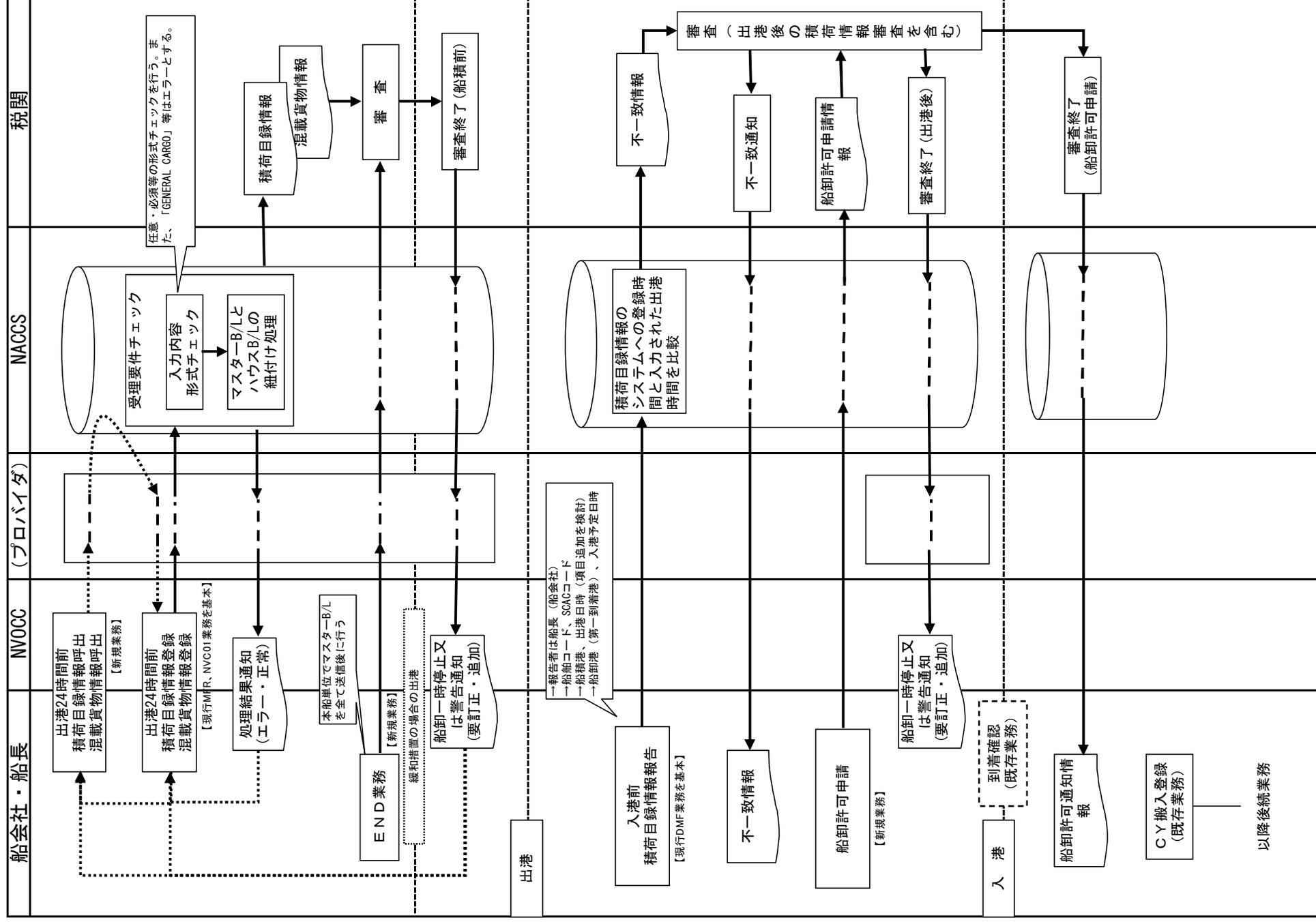
(注4) 利用運送事業者(Non Vessel Operating Common Carrier(NVOCC)): 自らは船舶の輸送手段を保有せず、運航者(船社等)のサービス(船舶輸送)を使って貨物を輸送する事業者。

(注5) 検査体制を整備した後、厳重検査を実施。

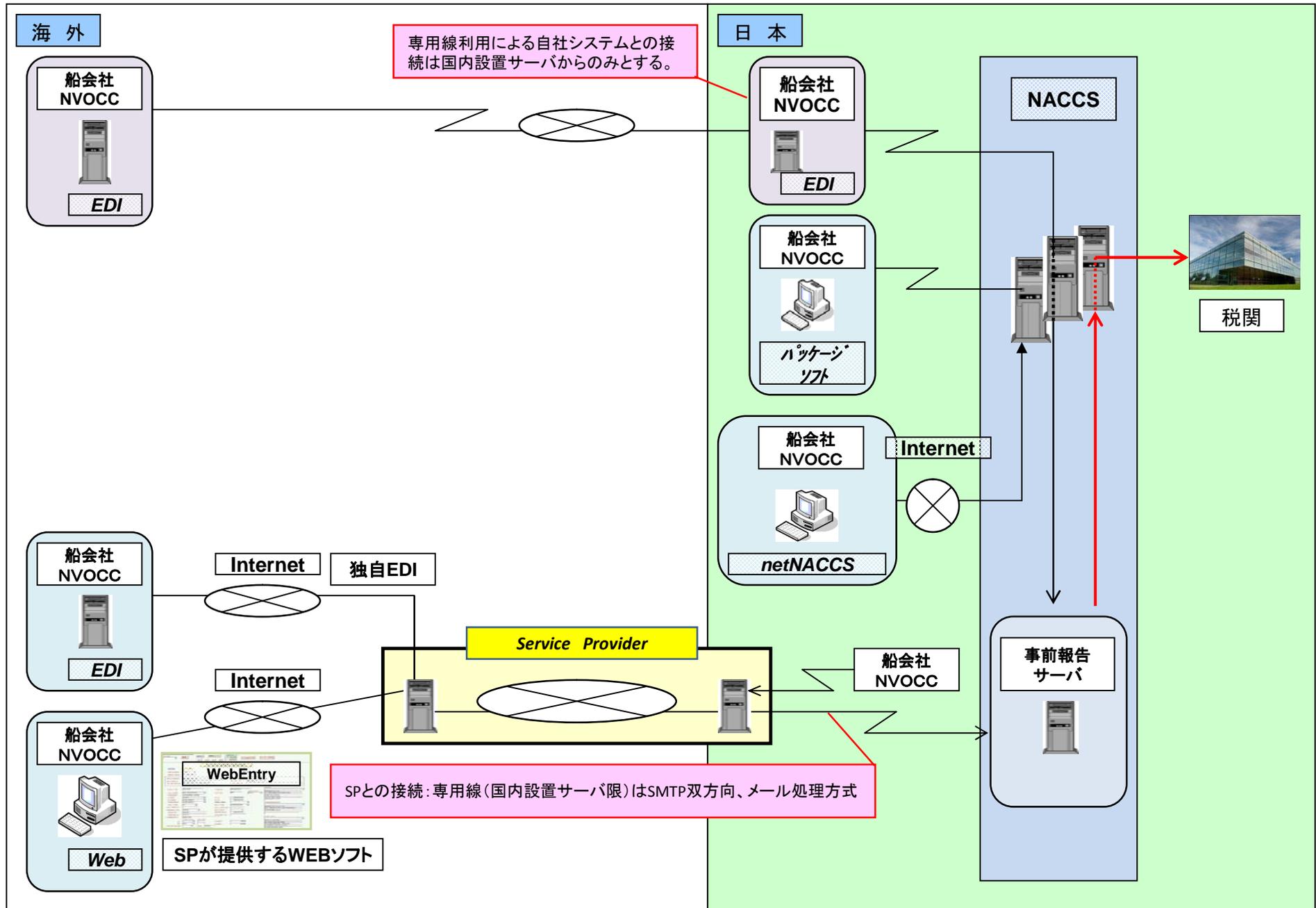
3. 出港前報告制度における業務フロー(案)



3. 出港前報告制度における業務フロー(案)



4. 出港前報告制度の利用(接続)形態(イメージ)



5. 今後の予定

